

緑化だより

No.53 平成22年8月号



ナンバンギセル 平成19年9月13日撮影

- きのこユーモラスネーミング
- 庭木の手入れ
- 花だより

- 研修会報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



きのこユーモラスネーミング

外国編(5) 『Witch's butter 魔女のバター』

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もありますが、4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“魔女のバター”と呼ばれているキノコは、日本ではコガネニカワタケのことを言います。黄色なのでバターをイメージしているのですが“魔女の”がつく所が欧米らしい所です。日本では黄金色の“膠(にかわ)たけ”になっていますが、膠とは、獣・魚類の骨・皮その他の廃物を煮た液を乾かして固めたもので、物を粘着させる役目などがあります。膠の触感と似ているのでそのような名前がつけられたものと思われませんが、いかにも日本らしい感じがします。

どこにでも見られるありふれた種類ではありませんが、広葉樹の枯れ木に時々見られます。

顕微鏡で組織を見ると、胞子をつける担子器はほぼ球形で縦方向の隔壁で2~4室に仕切られているのが見えます。食毒不明です。

※写真は“山と溪谷社”の「日本のきのこ」より



コガネニカワタケ

庭木の手入れ

『8月の手入れ』

8月は病害虫駆除と灌水に重点をおきます。剪定は基本的には枯れ枝を抜く程度にしますが、ひどく混み合った枝は台風対策のために枝透かし剪定を行います。

8月に入りますと、アメリカシロヒトリ、ドクガ幼虫、ミノガ幼虫、マイマイガ幼虫、ハダニ、カイガラムシ、アブラムシなどがよく繁殖します。7月に引き続き、殺虫剤と殺菌剤を散布してください。カイガラムシは今ならまだロウ物質で完全に覆われていませんので、退治する最後のチャンスです。



枝についたカイガラムシ

カイガラムシやアブラムシの分泌物に菌が寄生して起こる病気にスス病があります。スス病は病害虫を駆除すれば発生しなくなりますので、早期の駆除が重要です。また、アリも分泌物を好物としますので、アリが多い樹木は、分泌物が付着している(=スス病の可能性あり)かもしれません。これらには、薬剤散布をしてください。散布は7~10日間隔で2~3回行います。無風で曇りの日などが良いでしょう。

灌水は早朝が最もよく、早朝出来ないときは夕方に行ってください。たっぷりとかけることが大切です。暑い季節ですので、ホース中の水が湯になっていることがあります。薬剤散布でも灌水でもいきなりかけないように注意しましょう。

花だより

カンレンボク モクセイ科トネリコ属

2008 年現在、日本の平均寿命は、女:86.05 歳、男:79.29 歳と年々伸びており、女性では米寿(88 歳)、男性では、喜寿(77 歳)を大半の方が迎えるほど長生きする時代になっています。還暦(60 歳)は、まだまだ現役世代と言え、その他は、古希(70 歳)、傘寿(80 歳)、卒寿(90 歳)、白寿(99 歳)、紀寿(100 歳)になります。



カンレンボクの花

カンレンボクは、中国・長江以南の標高 1000m以上に分布している落葉高木です。別名キジュとも言います。中国ではカンレンボクは生命力が強く、果実が多数なることから、子々孫々繁栄を表す喜びの木と考えられ、この別名が付けられました。喜寿のお祝いとして苗木を送ると喜ばれるようです。幹は真っ直ぐに伸びますが、高さ 20~25mに達しますので、植えるには広い土地が必要です。



花柱が裂開した様子

雌雄同株で枝先に小さな花が集まった球形の花序を 3~5 個付けます。頂生の球花序は雌性、脇から生えている球花序は雄性になります。花弁は 5 個で雄しべは 10 個、雌花は子房下位で、花柱の先が 2~3 裂しています。樹が大きいのに花は小さいので、気をつけて見ないと気付きません。果実は秋に成熟し、径 5cm ほどの球果序になり、翼果なので風で飛散していきます。

果実や根には、抗腫瘍アルカロイドのカンプトテシン(camptothecine)というアルカロイドを含有(0.008%)しており、制癌作用が認められていますが、強い副作用が報告されています。抗癌薬イリノテカン(トポテシン)の原料となっています。

センターでは、苗畑の中と西ゲートの道路の向かいに植えられています。

研修会報告

7 月は、3 回の研修会を実施しました。

7 月 9 日(金) 『7月の自然探勝』 講師 石橋 昇

7 月 19 日(月) 『夏のきのこ教室』 講師 川上 嘉章

7 月 25 日(日) 『夏休み昆虫教室』 講師 亀山 剛

『夏のきのこ教室』には、50 人を超える方が参加され、祝日でもあったため、小さいお子さん連れのご家族の参加も多く見られました。

また、『夏休み昆虫教室』には、親子を中心に 40 名の定員に達する参加頂きました。子供の昆虫人気は変わらず高いようです。



『夏休み昆虫教室』

研修会・イベント紹介

8月8日(日) ボタニカルアート教室

10:00～12:00 学習室

講師 広島ボタニカルアートソサイエティ

植物を観察し、精密に描くボタニカルアートを体験してみませんか。

※参加者は、鉛筆・色鉛筆・消しゴムの持参をお願いします。

8月20日(金) 8月の自然探勝

10:00～12:00 第3駐車場集合

講師 広島大学名誉教授 石橋 昇 先生

石橋先生による毎月恒例の自然観察会です。

8月22日(日) 夏休み木の実・木の枝工作教室

10:00～12:00 学習室

講師 手作り工房いっちゃん 隅田 五雄 先生

木の実や枝を使って人形などを作る、親子でも楽しめる研修会です。

※要予約 先着20名様

8月29日(日) 不思議な地衣類の世界

10:00～12:00 学習室

講師 広島大学准教授 竹下 俊治 先生

多くの方がコケと混同している地衣類。その不思議な世界を紹介します。



H19年の
「ボタニカルアート教室」



昨年の「8月の自然探勝」



昨年の「親子で木の枝工作教室」

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 時間延長のお知らせ

8月の土・日は、閉園を通常より1時間延長致します。

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

紙粘土細工展 7月10日(土)～8月18日(水)

紙粘土で作られた人形や植物などの作品を展示しています。

世界のチョウ展 7月31日(土)～8月22日(日)

世界中の様々なチョウの標本を展示します。

古布を使った作品展 8月21日(土)～9月26日(日)

古布や着物をリサイクルして、作られた作品を展示します。

◎ 土砂崩れ

7月中旬の大雨のため、東山作業路の一部区間が土砂で通行できなくなっています。

危険ですので、立入らないようご協力をお願いします。

◎ 30周年記念イベント

9月1日に開園30周年を迎えるにあたり、9月5日(日)に30周年記念イベントを開催します。
ぜひご参加ください。